

第62回技能五輪全国大会 予選 「造園」職種競技課題(修正)

次の注意事項及び仕様に従って、指定された区画内に施工図に示す庭園を見栄え良く作庭しなさい。

1 競技時間

4時間（240分）

2 競技日程

令和6年3月10日（日）

・選手集合	7：30～7：40	（10分）
・競技説明	7：40～7：50	（10分）
・準備	7：50～8：00	（10分）
・競技（一回目）	8：00～12：00	（240分）
・昼食（測量・解体）	12：00～13：20	（80分）
・選手集合	13：20～13：30	（10分）
・競技説明	13：30～13：40	（10分）
・準備	13：40～13：50	（10分）
・競技（二回目）	13：50～17：50	（240分）

3 会場

愛知県立猿投農林高等学校

愛知県豊田市井上町12丁目179番地

4 注意事項

- （1）支給された材料の品名、寸法、数量等が「競技用材料（支給材料）」のとおりであることを確認すること。
- （2）支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- （3）競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
- （4）使用工具等は、各自必要と思われるものを使用してよい。ただし、原則として電源を必要とする電動工具の使用は不可とする。
- （5）あらかじめ印をしたり、定規として準備してきた用具などの使用および型紙などの持ち込みを禁止する。
- （6）競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- （7）競技中に観客等と話をしたり、指導を受けたと判断されたときは、減点もしくは退場を命ずる事がある。
- （8）指定された範囲内で、安全に配慮して作業を行うこと。
- （9）作業時の服装等は、作業に適したものとし、保護帽を着用すること。
なお、保護メガネ、手袋を必要とする作業においては着用すること。
- （10）競技中は携帯電話、スマートフォン、ウェアブル端末等（メール、時計、電卓の使用を含む）の使用を禁ずる。
- （11）標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。

- (12) 競技中は課題と図面以外の参照を禁止とする。
- (13) 課題と図面にメモ書きを入れて持ち込むことを禁止とする。
- (14) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

5 仕様

5-1 共通事項

寸法が示された場所は寸法に従うこと。寸法が明示されていない箇所はおおむね図面のように仕上げること。

5-2 石積み

積用石材を使用して、図面の箇所に石積みを行う。天端は揃えるが、端部は段逃げでよいが、出来るだけ天端は長く積むこと。

5-3 石張り・小舗石延段・板石敷き・レンガ

支給材料を使用し、図面のような感じに土ぎめで仕上げる。砂目地とする。

小舗石敷きのレンガ側端部の処理はおおむね図面の通りとし、半端は加工の上使用すること。

5-4 玉石縁石

支給された石を使用し、おおむね図のように仕上げる。石は余ってもよい。木柵側の端部は、図のようにすき間があってもよい。なお、1石以上入るすき間は開けないこと。

5-5 柵

柵は指定材料を使用し、詳細図のとおり施工する。

ぬき板は1か所当たりビス2本を使用して固定する。竹は両端くぎ止めとする。

5-6 植栽・草花

樹木は図面のような感じになるよう土ぎめで植栽し、必要と思われる剪定はしてもよい。

樹種は変更されることがある。

図示部分に草花を植栽する。草花は支給材料の中から自由に選んでよい。

5-7 芝の植付け

図面指定部分に、目地なし、目土なしで施工する。

5-8 地均し・整地

土が不足した場合は区画外より入れる。また土が余った場合は、区画内で処理すること。

図面右下部分、植栽箇所は築山状に成形すること。高さは問わないが、周囲はすり合わせることに。

5-9 片付け

道具を整理し、ゴミをまとめておくこと。

6 支給材料（1組分）

品 名		寸法又は規格(mm)	数 量	単位	備 考
石積用石材(小端積み用)		100～400 内外	所要量		和良石または気良石
敷 石 等	板石	300×600×50 程度	2	枚	御影石・敷石用 コンクリート平板でも可
	板石	300×600×30 内外	所要量		加工用
	小舗石(ピンコロ石)	90× 90× 90	30	個	
	コンクリート平板	300×300×60	1	枚	
	レンガ	210×100×60	5	個	
	ごろた石	100～200 程度	10	個	
	目地用砂	洗砂	所要量		
木 柵	木柵用木材(柱)	60×60×3000	1	本	
	木柵用木材	75×14×4000(ぬき板)	1	本	
	まだけ	まわり 70～90	1	本	
	木柵柱固定用L型金具	60×90×3.2	2	個	
	ビス	32 mm	36	本	
	釘	50	8	本	
植 栽	モミジ	H 1500	1	本	
	サザンカ	H 1500	1	本	
	サツキ	H 300	2	本	
	下草(地被・草花)		35	pot	
	コウライシバ		1	束	

7 持参工具

- (1) 必要と思われる工具は持参しても良いが、手作業で行うことを原則とするため電源（発電機も含む）を必要とする電動工具や油圧を使う工具については使用できない。
ただし木柵施工のビス止め等に使用する充電式インパクトドリルについては持参可とする。
- (2) 工具の大きさについては特に指定はないが、通常使用している標準的な工具とする。
- (3) 充電式ドリルの刃を交換してサンダーのように使用することはできない。

8 その他の注意事項

- (1) ベニヤ板を1枚支給するので自由に使用して良い。
- (2) 材料については都合により直前に変更することがある。
- (3) 競技終了後、課題の解体撤去作業を行う。

9 採点項目及び配点

採 点 項 目		配 点
作 品 採 点	客観評価	4 0 点
	出来栄え	5 0 点
作業態度採点		1 0 点
工具の取り扱い		
安全作業		
仕様書・図面の理解		
作業手順		
作業現場の清潔さ		